

2. 報告事項

(1) 平成20年度社会教育施設の利用状況について

平成18年度から20年度の利用者数の比較が報告された。平成20年度の施設全体の入場者数は9万4,273名で前年比約10%減少し、一人当たり関係施設にかかる町経費は約500円を要している。

(2) 平成21年度工事発注状況と今後の見通しについて

平成21年度は予算総額6億6,911万8千円、件数58件の発注予定で、5月19日現在で発注件数18件、発注額1億2,572万3千円となっており、今後40件が発注予定。西1線町道改修工事は発注済みではあるが、田植え作業等により交通量が多いことから今後工事が進んでいく。青葉団地公営住宅は臨時会で決定されたとおりである。

(3) 21世紀高生産基盤整備推進事業の進捗状況について

現在までに22地区で事業が進められており、10地区が完了している。平成21年度中に5地区が完了し、4地区は平

成23年度までに完了予定。また、平成21年度調査設計の3地区が平成26年度完了予定で整備が進められている。

全体事業費は302億674万8千円、平成20年度までに224億8,269万5千円、本年度末の進捗率は79・8%となる。

(4) 中山間地域等直接支払交付金について

平成12年度から進められた事業で、平成21年度が最終年度となる。

- ・対象農用地 10集落
- 水田 1,557万309㎡
- 畑 4万3,787㎡
- ・協定参加者数 345人
- ・交付金額 1億2,640万1千円
- ・交付金の負担割合 国50%、道25%、町25%

(5) 農地・水・環境保全向上対策について

- ・共同活動 7地区
- 活動組織 基礎支援に係る金額 8,463万1千円
- ・営農活動 2地区
- 活動組織 基礎支援に係る金額 504万1千円

- ・支援金の負担割合 国50%、道25%、町25%

(6) 平成21年度農産物作付面積について

- ・対象水田認定面積 4,313・24^ハ (前年比2・89^ハ減)
- ・水稻作付面積 3,596・82^ハ (前年比95・81^ハ増)

- ・転作面積 701・39^ハ (前年比98・24^ハ減)
- ・主な転作物 小麦、大豆、飼料作物、そば、地力増進作物

(7) 平成20年度農用地の権利移動状況について

- ・売買 23件
- 基盤強化 63万2,555㎡ 9件
- 法第3条 3万9,346㎡
- 売買の平均価格(10^ア当たり) 水田28万円、畑5万円
- ・賃貸 57件
- 基盤強化 155万663㎡
- 法第3条 1万7,715㎡ 1件

平成20年度中に13戸が離農し、21年度農家戸数は430戸。

(8) 割増商品券の使用状況について

- ・販売数 7万2,000枚
- ・発行額 3,000万円 (割増含め3,600万円)
- ・購入人数 1,066人
- ・回収状況(5月25日現在) 5万1,700枚(71・8%)

議会活性化 特別委員会報告

議会改革や活性化に取り組むべく組織された「議会活性化特別委員会」(委員長 乗松政勝)は、諮問事項を取りまとめ、5月7日に議長に答申した。

- 議会活動の公開と説明責任
- ・議会報告会を開催する。
- ・議会広報の充実を図る。
- ・住民及び諸団体との懇談会を開催する。

- 議員個々の資質向上
- ・研修機会を充実する。
- ・議員相互の討議機会を活性化する。
- ・2常任委員会相互の情報交換機会を充実する。

編集後記

福島のことから山形産のさくらんぼが届きました。早速食してみたのですが、例年のような甘味がありません。お礼の電話でこのことを尋ねると、日照不足が原因では？とのこと。田植え以後天気が続かず、本町の農作物の生育も心配ですね。

これまで低調であった土木や建築関係公共事業が、国の景気対策予算によって近年にない発注額となっており、関係業者さんには「恵みの雨」となったことと思います。一方、公務員の方々は夏のボーナスの減額が決定、介護保険料や国民健康保険料も若干の負担増となることを考えると庶民の暮らしはいっそうに楽にはなりませんね。

【議会広報特別委員会】

委員長	西永 勝治
副委員長	樋坂 里子
委員	青田 良一
	山田 秀明
	笹木 正文
	岩木 雅徳